

## 21.9.26 KT師重賞本命と見解

### 神戸新聞杯

非根幹距離重賞。コース設定自体はタフ。欧州型向きの条件。

とはいえ、昨年も1着はコントレイル。  
同じくディープインパクト産駒でダービー馬のシャフリヤールは消せないので、  
馬券妙味はまったくありませんが。

本命はステラヴェローチェ。

父バゴは欧州型で非根幹距離重賞向きの種牡馬。  
同産駒にクロノジェネシス。非根幹距離G1で圧倒的なパフォーマンスを発揮。

ステラヴェローチェの牝系は仕上がりが早く素軽い血統。  
休み明けから力を出せます。  
前走に比べ適性面の上積みも見込めます。

ワンダフルタウンは昨年の当レース人気薄3着だった  
ロバートソンキーと同じくルーラーシップ産駒。

非サンデー系の欧州型種牡馬。  
同牝系にビッシュ。秋になってタフな中山芝重賞紫苑Sを勝った馬。  
ハウオウサーベルも3歳夏に大幅上昇したように、  
本質的にはキャリアを重ねて上昇する一族。

## オールカマー

本命はサトノソルタス。

路盤が改修された 2015 年以降、  
ディープインパクト産駒で母父米国型の馬は 5 頭出走してすべて連対。

堀厩舎の管理馬は関東の主場開催と他場では仕上がりに違いが出やすい傾向。

サトノソルタスが東京に良績が集中しているのも、  
コース適性よりも厩舎の特徴が大きい可能性も。

今回は血統的に合うことに加え、厩舎も仕上げやすい関東の主場。  
このオッズはおいしいのでは。

相手もディープ産駒。

レイパパレ、グローリーヴェイズは母父も米国型。

サトノソルタスが馬券になった上で、ディープ産駒の 1-3 着独占に期待。